

ブロードメディア株式会社 経営近況報告会



- 事業領域
- 4つの成長エンジン
- 経営課題と成長戦略
- 経営方針と経営理念

事業領域

ブロードメディアの事業領域



三位一体の事業領域

- ① コンテンツサービスを
- ② 配信技術を用いて
- ③ 普及促進する

次世代の事業の優先順位

優先順位：高 ★★★★★ 「独自性が極めて高い」事業

優先順位：中 ★★★ 「独自性が高い」事業

優先順位：低 ★ 「独自性が低い」事業



4つの成長エンジン



1

ティーズ ティービー
T's TV

コンテンツ

ティーズティービー **T's TV** 最近のトピックス

パナソニック
「ビエラ・コネクト」に新登場



国内主要テレビメーカー
5社への対応が完了

LGの Smart TVに搭載



マジックリモコンに対応

ティーズティービー **T's TV** 最近のトピックス

世界初のクラウドリモコン™ 「**T's TV**リモート」
Android版、iPhone版、iPad版をリリース



直感的な操作
テキスト検索・音声検索
予告編映像視聴

「お気に入り」登録
作品レビュー
と連携

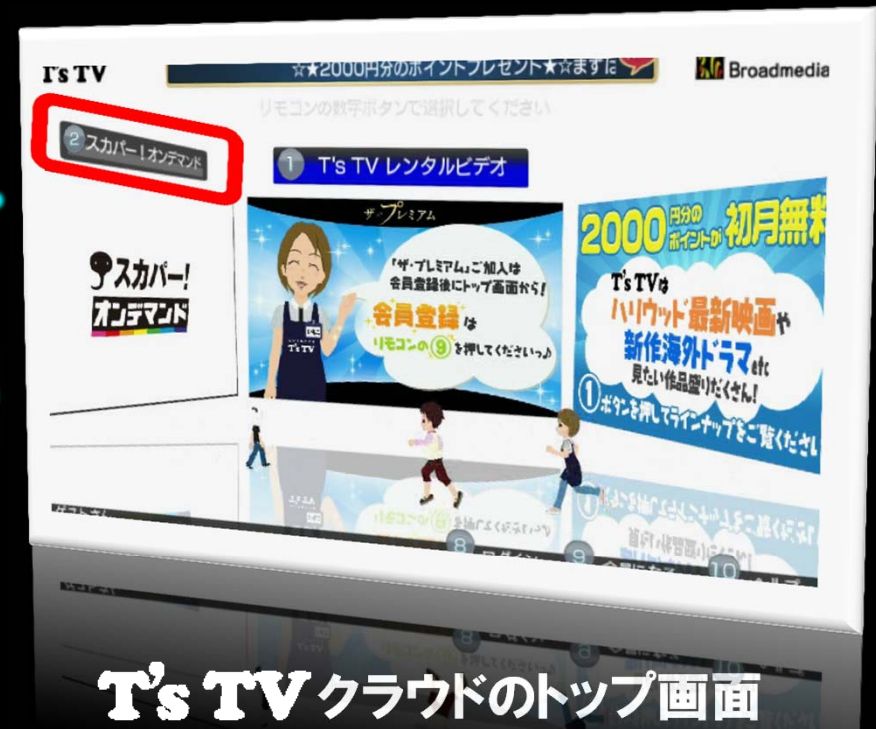
ティーズ ティービー **T's TV** クラウド

スカパーJSAT社へのプラットフォーム提供



スカパー！オンデマンドのトップ画面

相互
リンク



T's TV クラウドのトップ画面

今後、パートナー企業への技術提供を通じて、
ゲーム、ショッピング等の様々なサービス展開を予定

ティーズ ティービー
T's TV Gクラスタの進捗



フランスのSFR向けにゲームサービスを提供中



- IPTVユーザー向けのサービス
- ユーザー数は順調に増加

カジュアルゲームに加えてハイエンドゲームの取扱いを開始

- UBISOFT社とライセンス契約を締結

欧州市場での展開を加速

- 複数の大手通信会社との提携を見込んでいる

最新のデモンストレーションを
ご覧ください

2

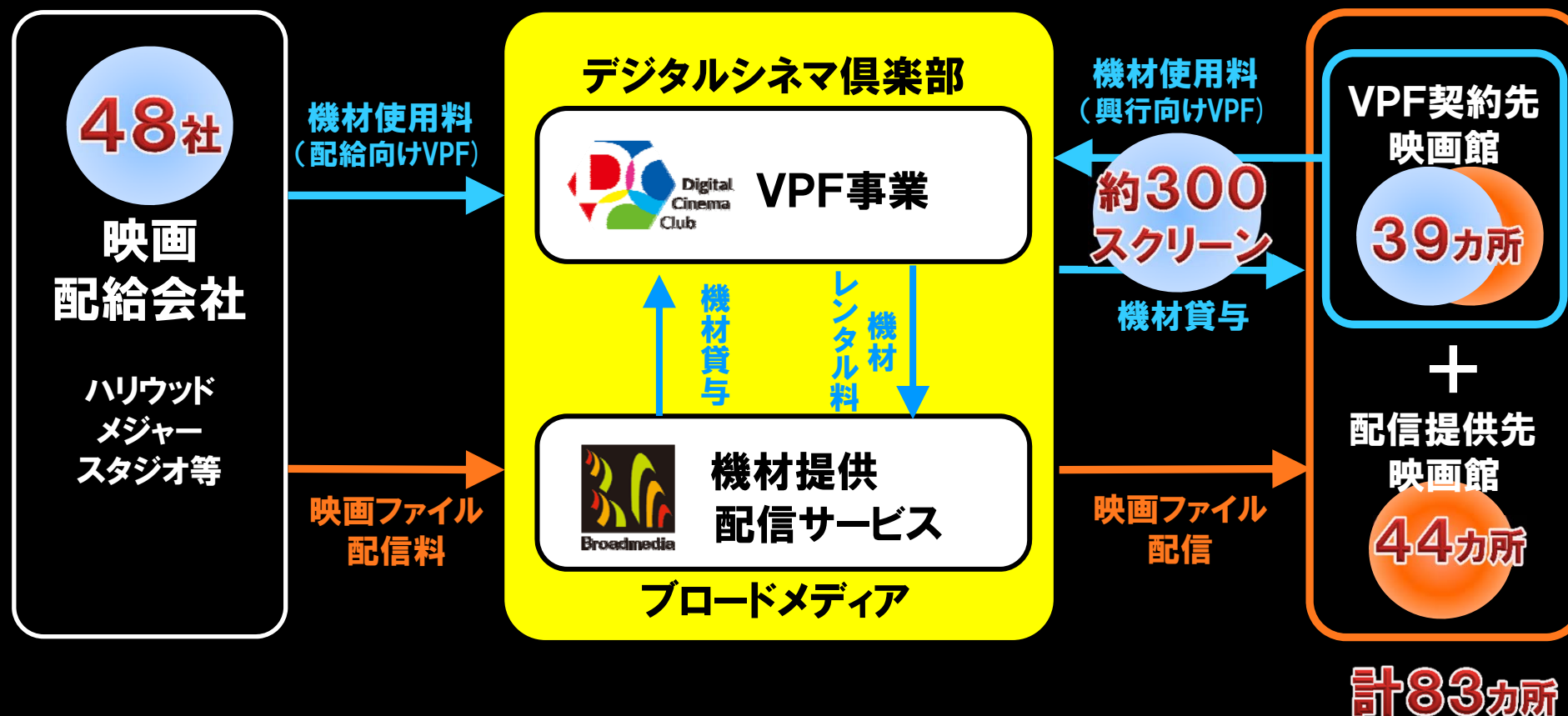
デジタルシネマサービス

技 術

デジタルシネマ化の推進

- ① 映画館へのデジタル機材の提供（配給・興行向けVPF事業）
- ② 映画本編やシネアド等の配信サービス提供

*数値は6月20日時点



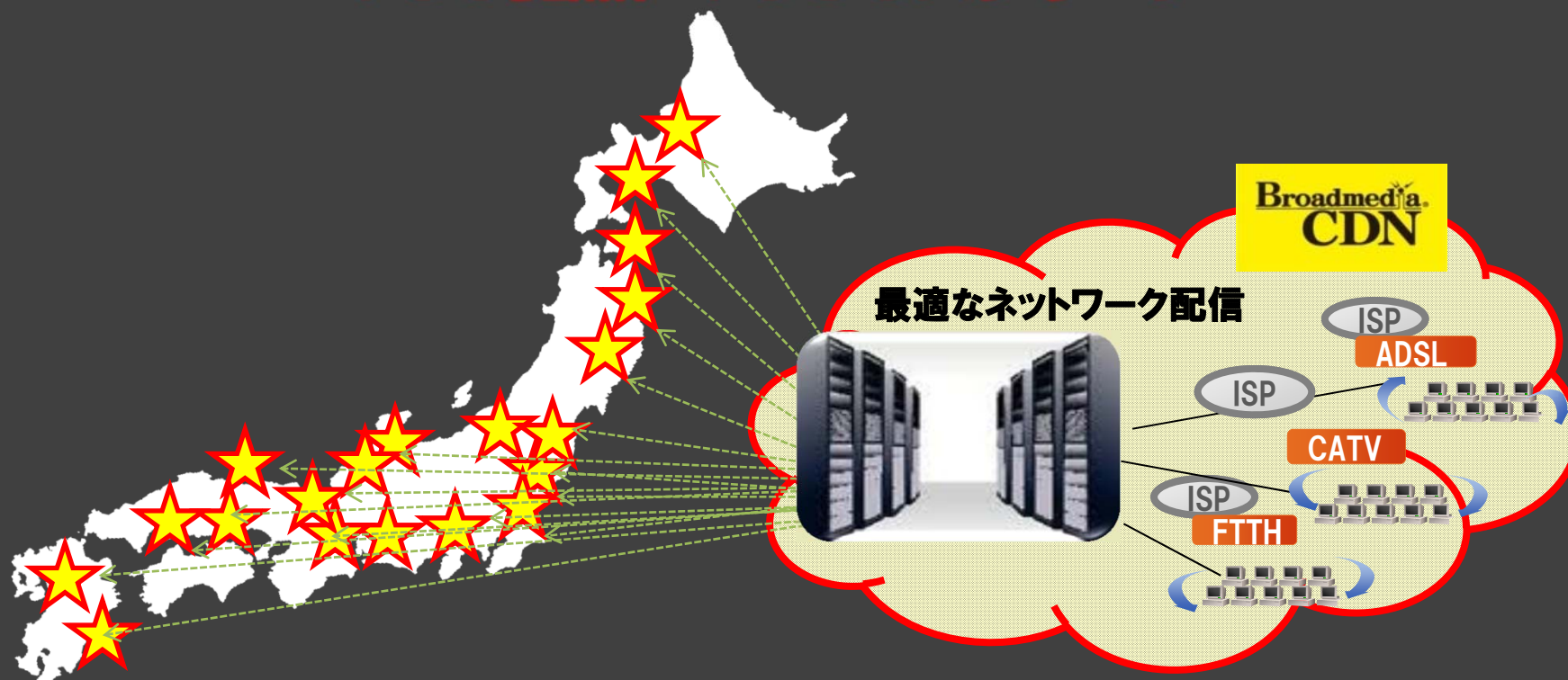
デジタルシネマ倶楽部(株)を子会社化

新たな配信基盤の確立

映画館向け配信サービス

「ブロードメディア®CDN for theater」

拠点数 83カ所、スクリーン数 500を超える
→今期中に**150拠点**、**1000スクリーン**を目指す



3

釣りビジョン

放送

釣りビジョン



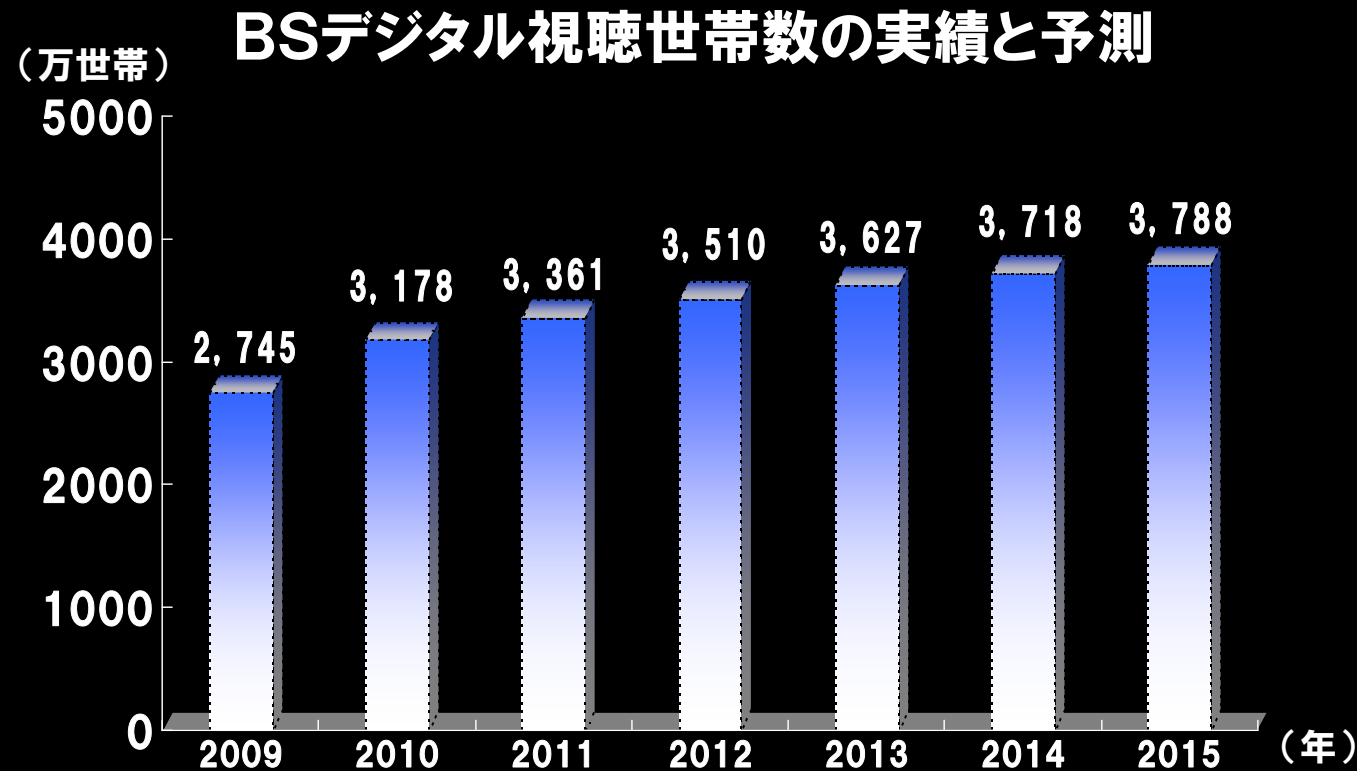
2012年3月1日より「BS釣りビジョン」放送開始

- 視聴可能世帯数450万世帯
(BS放送・CS放送・CATV)
- 中国釣り専門チャンネル「快樂垂釣頻道」を通して
21省200以上の地域で放送中



BS参入について

- より大きな母集団に、より高品質で、より良いサービスを提供



＊野村総合研究所
「ITナビゲーター2012年版」より

- 「スカパー！ e2基本パック」に参加
- 放送開始後の2か月間で視聴可能世帯数は約80万世帯の増加

4



ルネサンス・アカデミー株式会社

コンテンツ

教育は21世紀最大のコンテンツ

- 2006年4月にルネサンス高等学校を開校
- 2011年10月にルネサンス豊田高等学校が開校
- 現在の在籍生徒は両校で3000名を超える



茨城県大子町
ルネサンス高等学校



愛知県豊田市
ルネサンス豊田高等学校

学校の特徴

- 新しいeラーニングのスタイルで高校教育を推進
- 「スマートフォン×デジタル教科書」プロジェクトをクアルコム社と推進
- 「ナショナルジオグラフィック」日本語版公式サイトを本年6月にブロードメディアより移管

進化するネット教育



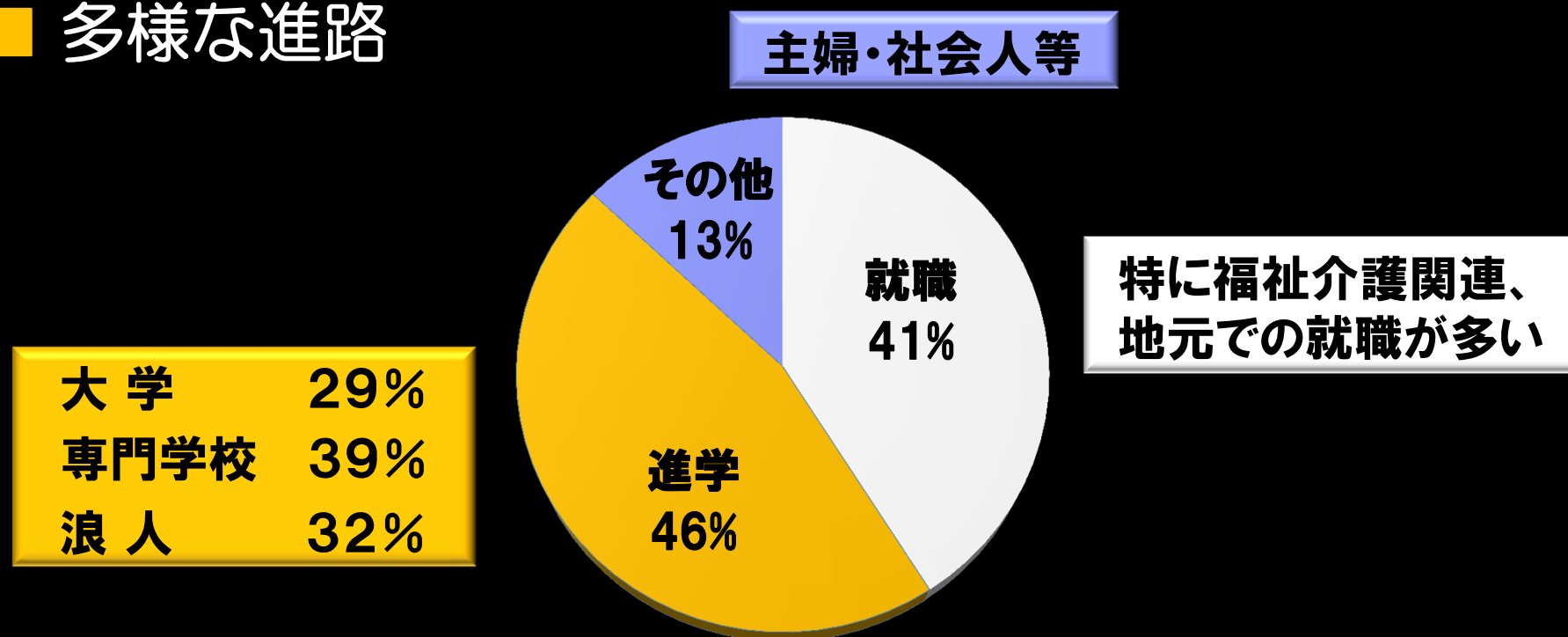
活発なスクーリング

情報通信技術による総合的な
教育・学習環境の普及促進

卒業生の進路

■ 2011年度 卒業生徒数935名

■ 多様な進路

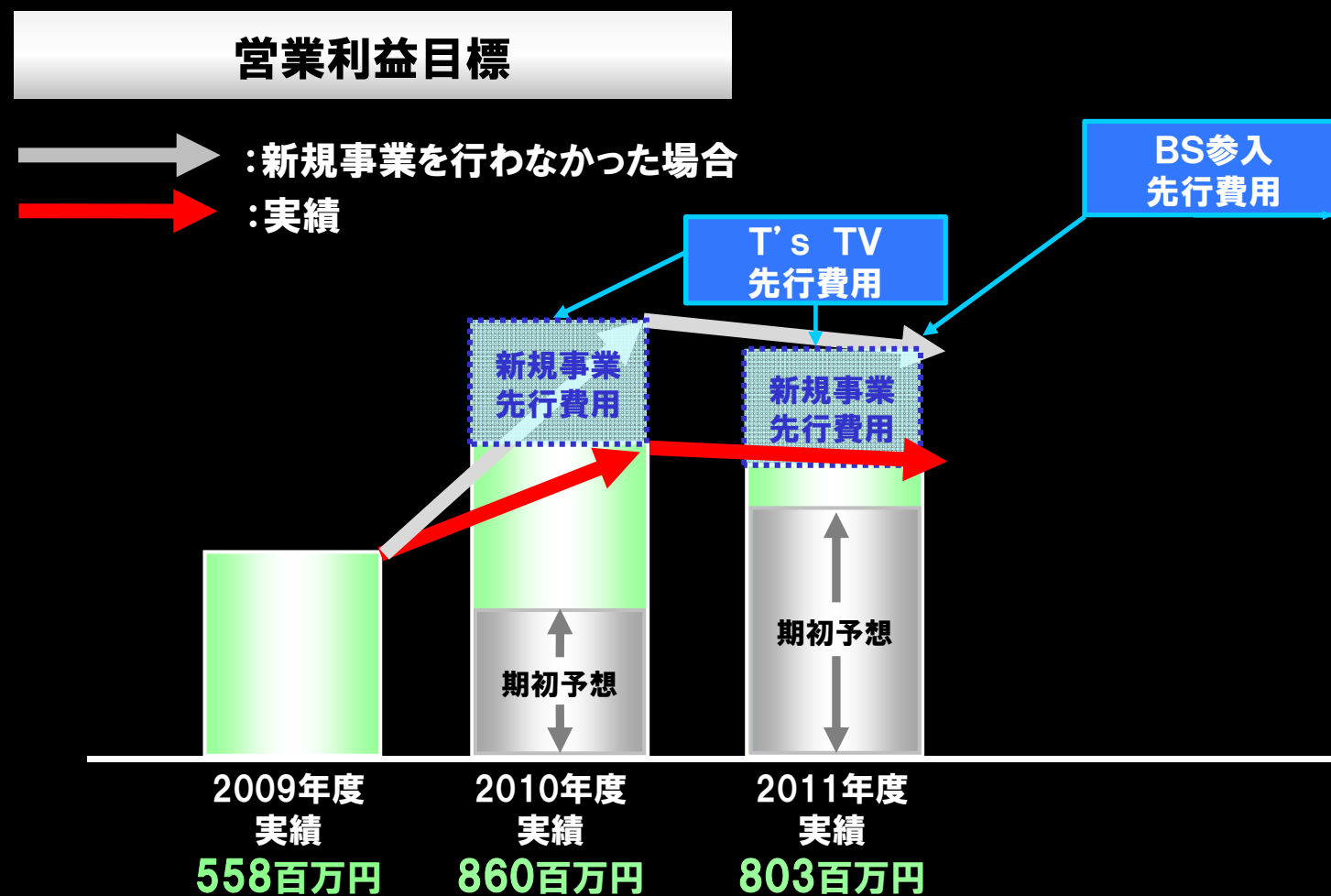


■ 進学者の合格大学

医大系では東京医科・順天堂・防衛医科、
早稲田・上智・横浜国立・明治・青山・立教・中央・
法政・関西・同志社等

経営課題と成長戦略

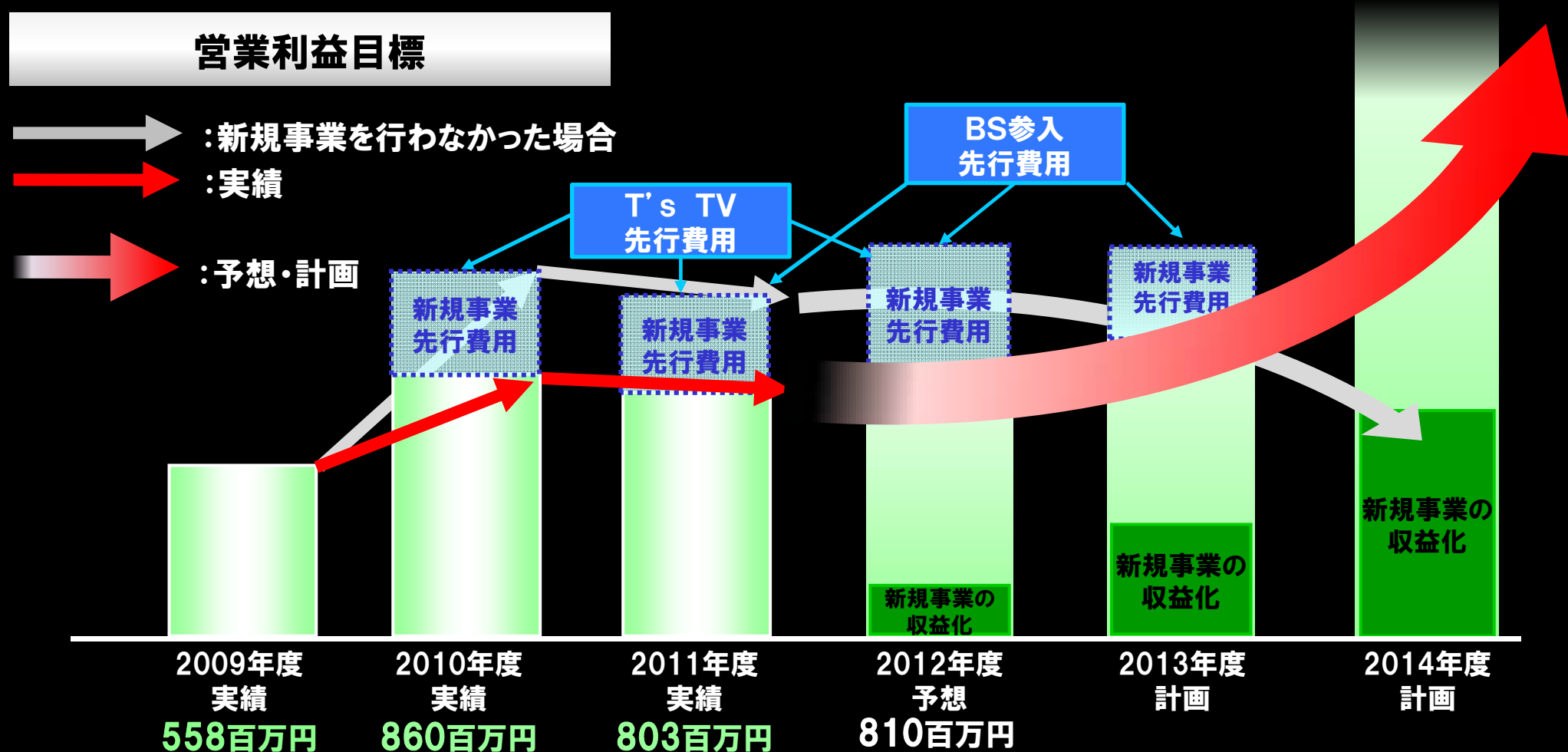
経営課題について



経営課題について

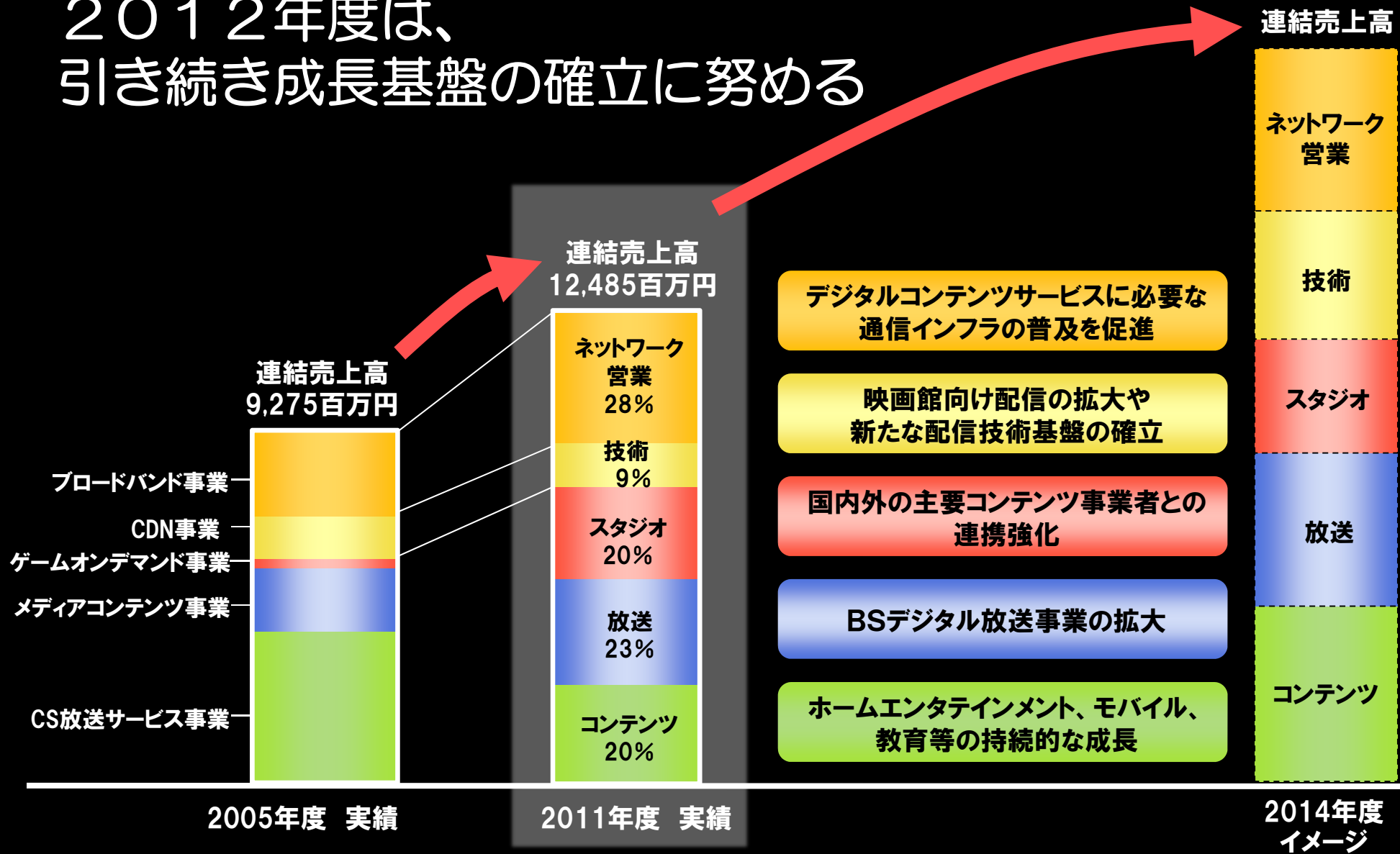
新規事業への取組みにより、中期的に大きな成長を目指す

当面は新規事業による先行費用が影響



これからの3年間の目標

2012年度は、
引き続き成長基盤の確立に努める



株主への利益還元

■ 配当金

2011年度は、中間・期末にそれぞれ1株当たり1円50銭の配当を実施

2012年度の1株当たりの年間配当額は3円と予想

■ 自己株式の取得

過去2年の間に自己株買いを2回実施

	2010年度	2011年度
取得株式の総数	790,000 株	717,100 株
取得価額の総額	134,984,100 円	93,428,300 円

今後も機会があれば実施を検討する

経営方針と経営理念

経営方針

当社の独自性を発揮できる領域で勝負する



横並びと同質化に未来は無い

独自性のあるものを伸ばすことこそが
未来につながる

経営理念

創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する

ご清聴ありがとうございました

